

130208 シマヘビ

石川の河川敷に何と「ヘビ」がいました。(2/6)

体長は優に1mを超える「シマヘビ」です！

この時期、当然「冬眠」しているものとばかり思っていましたか…

きっと、「春が来た」との勘違いで目覚めてしまい、寝ぼけまなこ？でうろついていたの
でしょうね…

でも、この日は曇天で気温も10℃を下回っていましたので、動きはすこぶる緩慢でした。

では何故、こんな真冬に冬眠から目覚めてしまったのでしょうか？

今年は1月30日から2月4日までの期間、最高気温が10℃を上回り、中でも2月2日の土曜日は「最高気温17.1℃、最低気温9.1℃」と、もう「春」そのもの、4月の気温と言ってもいいくらいの暖かさで、大阪城公園の梅林では梅の花がほころんだ、とのことでした。

このような陽気では、冬眠していた「シマヘビ」も、春が来たと勘違いしても仕方なかったのかもしれないね。

ちなみに「シマヘビ」とは…

平地から山地まで生息し、水田や河川沿い、石垣、草地、樹林地でも見ることのできる、無毒のヘビです。

カエルやトカゲ類、ハタネズミや小鳥まで食べてしまうようで、赤い虹彩の眼は鋭く光り、興奮すると尾部を激しく振るなど、比較的荒い性質の持ち主だと言えましょう。

彼らは気温が10℃以下になると土中に潜って「冬眠」し、10～15℃くらいで冬眠から目覚めるそうですが、季節で言えば11月下旬頃から3月下旬頃までが「冬眠」の時期となります。（もちろん、生息場所や年によって変動はあるでしょうが。）

ところで、今日(2/8)は最高気温が4℃の予想で、朝から雪も散らつていました。

あの「シマヘビ」君、無事に「再冬眠」？できたのでしょうか？

■写真①： シマヘビ

◆石川河川敷にいた真冬の「シマヘビ」…

《参 考》

◆昨年(2017)の8月8日、標高約1,000mの「ちはや園地」で撮影した「シマヘビ」は、大きな「トノサマガエル」を食べようとしていました。

詳しくは次のアドレスからご覧ください。

↓
<http://www.pref.osaka.jp/attach/15501/00099022/120810tihaya.pdf>

